

令和4年4月18日
インテリジェントモビリティ研究所
東、田中、服部、金子
Tel: 0942-22-2345 (代表)

**吉野ヶ里歴史公園で、対話型AI自動運転モビリティの
本格導入に向けた共同研究を行います**

佐賀県では、AI、IoT、xR、Robotics等、先進テクノロジーの活用により、地域課題を解決し、人にやさしい県民が快適に暮らせる社会「さがSociety5.0」を目指しています。

そうした中、久留米工業大学は佐賀県と共同で令和3年度に吉野ヶ里歴史公園で「対話型AI自動運転車いす（以下「AIモビリティ」という）の実証実験を行い、サービスの実現性や利用者の高いニーズなど、新たな移動手段として実装の可能性を確認しました。

こうしたことから、令和5年1月からのAIモビリティの本格導入を目指すこととし、それに向けての安全かつ円滑な運用及び利用者の満足度の高いサービス提供の実現を目的として、次のとおり、共同研究を実施します。

記

【共同研究概要】

1 目的

令和5年1月からの対話型AI自動運転モビリティ（以降「AIモビリティ」という。）の本格導入を目指し、安全かつ円滑な運用及び利用者満足度の高いサービス提供の実現を目的として、共同研究を実施する。

2 共同研究実施者

- ・佐賀県（Society5.0推進、公園設置者）
- ・吉野ヶ里パークマネジメントさが（公園指定管理者）
- ・久留米工業大学（AIモビリティ（運用システム含む）開発者）

3 共同研究の内容

（1）共同研究の内容

- ① 安全かつ円滑な運行の確保
- ② 利用者満足度の高いサービスの実現
- ③ 公園指定管理者による運営を想定した準備・試行
- ④ その他

(2) 役割分担

- ・佐賀県：共同研究の総合調整
- ・吉野ヶ里パークマネジメントさが：来場者サービスの提供を想定した運用試行等
- ・久留米工業大学：AIモビリティ（運用システム含む）の開発者としての共同研究企画・運用等の試行。

(3) スケジュール（見込み）

- ・第1期（4月～6月） 運用・サービスの検討（数日間の体験搭乗会を開催）
- ・第2期（7月～9月） 運用・サービスの実証（ 同 上 ）
- ・第3期（10月～12月） プレ導入
（1月～本格導入（目標））

※ 共同研究の進捗に応じて内容、スケジュール等の変更の可能性あり

※ 関連のイベント等、適宜、プレスリリースを予定